

三遠南信地域交流たずねある記（3） 三・遠・南信を繋ぐ

県道1号線（飯田富山佐久間線）

～ 緑深い三遠南信地域を縦断～

県道1号線の名称は「飯田富山佐久間線」という。「富山」はあの「日本でいちばん人口の少ない村」と言われた富山村（平成の合併で豊根村となる）のこと、「佐久間」がああ佐久間ダムのある佐久間町のことと知り、道路地図を見ると、県道1号線は愛知県でも「県道1号線」であり、静岡県でも同様であることが判る。これこそ三遠南信地域あるいは地域内交流のアイコン（象徴）と考え、この道を走ることにした。

■長野県内を愛知県境まで

飯田建設事務所によると、県道1号線の起点は飯田市下久堅919番地1。水神橋を渡り上久堅へ向かう国道256号線の南原方面へ分岐する丁字交差点がその地点となる。1号線は天竜川沿いを南下（次頁概略図参照）、飯田市龍江地区、同千代地区を通過し千泰大橋を渡って泰阜村へ入る。泰阜村内は、一部未改良部分があるものの、概ね改良が進み良好な道路状況である。県道は平成30年供用開始の飯田線立体交差で温田駅を通過し、南宮大橋により天龍川右岸へと渡る。

阿南町から天竜川に沿う県道1号線の通称は「湖岸道路」。平岡ダムの先の交差点で南信濃方面から来る国道418号線と合流する。418号線は、福井県大野市から関市、美濃加茂市、恵那市などを経て、県内では岐阜県上矢作町から平谷村へ入り、平谷峠、売木トンネルを通過して阿南町新野へ、天龍村平岡を經由して飯田市南信濃和田で国道152号との合流点で終点となる道路である。

県道1号線と国道418号線は天龍村神原まで重複部分で、道路地図の表示は国道481号となる。県道1号は天龍川右岸へ渡り、418号線と分岐して天竜川に沿い南下する。

■佐久間ダム湖に沿って静岡県へ

長野県道1号線の終点、天龍村神原1983番地1は針葉樹の林の中にひっそりと県境の看板があるのみ。ここからは愛知県道1号線の標識になる。



飯田市下久堅の県道1号線起点標識
奥左右が国道256号、手前方面へ県道1号線



長野県



愛知県



静岡県



長野県道1号線 終点（長野・愛知県県境）



飯田線大嵐駅と大原トンネル

暫く走ると、天竜川につり橋が架かり、大嵐駅^{おおぞれ}の案内看板がある。天竜川左岸は静岡県で一時的な越境となる。大嵐駅は、佐久間まで天竜川に沿っていた飯田線の線路が佐久間ダム建設で水没するため水窪へと線路を付け替えた際造られた大原トンネル（全長5,063 m 飯田線最長）の入り口の駅である。



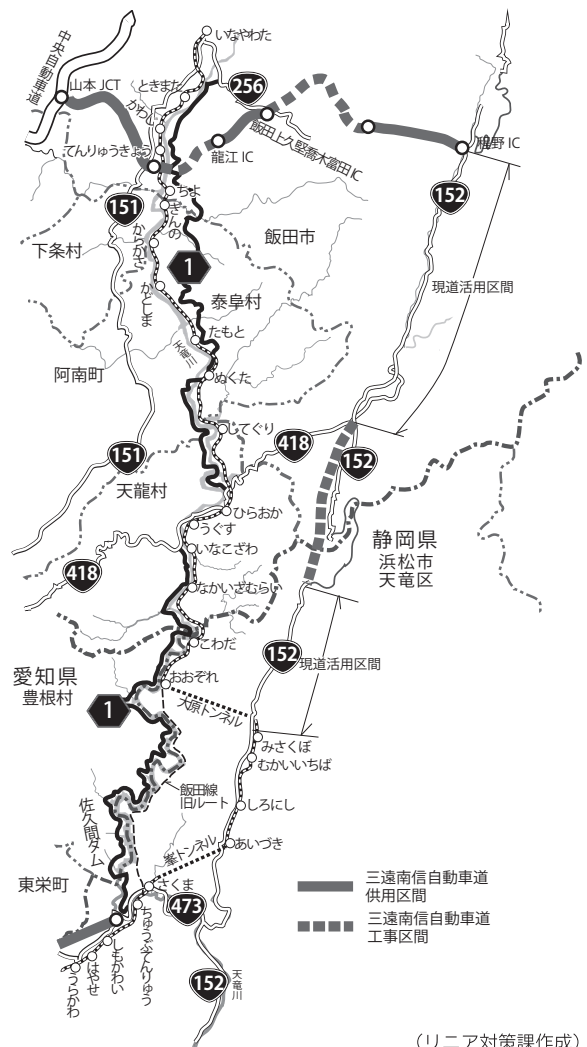
旧富山村中心部（豊根村富山地区）

大嵐駅はまた、旧富山村中心部へ向かう最寄駅だったという。右岸の愛知県へ戻り暫く行くと旧富山村役場などの村中心部へと至るが、大嵐駅からの徒歩となるとややきつい距離である。

旧富山村辺りから天竜川は川幅を広げ、水量が増えて佐久間ダム湖の様相を呈してくる。県道1号線は次第に建設関係の車両が増えて行き違いに神経を使うようになる。幾つかのトンネルを抜けると佐久間ダムのダムサイトが現れる。県道1号線は、ダムの天端が道路になって左岸へ渡るようになっており、これで1号線は静岡県道となる。

佐久間ダムを過ぎると浜松市天竜区佐久間地区の市街地へ入ってくる。静岡県道1号線は国道473号線と接続しその先天竜区浦川まで重複部分を通じるためか、現地の交差点には特別な標識等はなく素っ気無い扱いである。

県道1号線飯田富山佐久間線 概略図



(リニア対策課作成)

■ 飯田富山佐久間線の今後に向けては

県道1号線と天竜川対岸のJR飯田線は、厳しい自然条件の下、関係者により保全活動が取り組まれており、この日も道路関係の改修工事やJRの保線活動がみられた。

三遠南信地域内の交通は、国道151号・152号線の改良、そして待望する三遠南信自動車道に関心が向いている。県道1号線は、今後三遠南信地域内交流のメインルートとなることは難しいかもしれないが、かつての三遠南信地域内交流の歴史を窺うことができるルートである。また紅葉の時期に訪れてみたいと感じた県道1号線であった。



佐久間ダム湖と県道1号線（右） ダムサイト天端を通行して静岡県へ



県道1号線・国道473号接続交差点

(飯田信用金庫 地域サポート部 リニア対策課 加藤 修平)